

(様式1) 実践事例

学校名	国見町立県北中学校	校長名	湯 浅 英 生		
住 所	福島県伊達郡国見町大字森山字西上野20	生徒数	253	学級数	11
TEL	024-585-2372	ホームページアドレス	http://www.kenpoku-j.fks.ed.jp/		

「自ら学ぶ力」を育てる教科指導の工夫

1 少人数指導の方針

- (1) 学習形態（一斉指導，ペア学習，グループ学習，習熟度別学習等）を工夫することにより，学び合いの中で自分の考えを表現し，互いの考えを練り合い，共有する活動を通して，確かな学力を身に付けさせる。
- (2) 様々な個人差（習熟度，学習速度，学習スタイル，興味・関心等）に応じて，生徒一人ひとりが主体的に学習することができるように，課題設定を工夫し，多様な学習活動が展開できるよう配慮する。
- (3) 様々な生徒の反応（戸惑い，つまずき，誤り等）に柔軟に対応し，一人ひとりの生徒に学習が成立するよう配慮する。

2 実践の概要 ※方針（1）を中心に

（1）数学科 数学的活動を通して，生徒が互いに学び合う場の設定の工夫と実践



[主体的に学ぶ態度を育てる指導の工夫]

数学的活動（操作・実験，比較検討など）を積極的に取り入れることにより，全ての生徒が興味をもって課題追究できるように配慮した。図形の直観的な見方や考え方を深めることを中心としながら，論理的に考察し表現する能力を培うことができた。

[学び合いの中で自分の考えを表現させる指導の工夫]

少人数指導の良さを生かし，ペア学習やグループ学習で課題に取り組みさせることにより，学び合いの場を確保し，互いの発想を自由に表現し合い，互いの考えの良さを認め合いながら課題追究できるように，課題の選定や提示方法，学習形態等を工夫した。

いろいろな解決方法があることに気付くことで，さらに新しい解決方法を見付けようと意欲的に取り組む姿が見られた。



（2）英語科 学び合いの中で自分の考えを表現させる工夫と実践



[時間配分を工夫し，言語活動を充実させる指導の工夫]

自分でまず英文を考える時間を確保した上で，4，5人のグループ内で発表させた。全員が必ず発表する場を確保することや，聞き手を意識して英語で伝える工夫（音量，発音，間の取り方など）ができるよう事前に指導を行った。クラス全体での発表の前に，文章の構成や発音などを少人数で確認させたことで，文章構成の練り上げで活発な話し合い活動につながった。

[少人数での活動のバリエーションを増やし，主体的に学ぶ態度を育てる指導の工夫]

ペアやグループ活動を取り入れ，ドリル的な活動から発展的な活動まで，活動の種類に変化をもたせ，生徒が常に新鮮な気持ちで取り組めるよう工夫した。簡単な課題ばかりではなく，「ちょっと頑張ればできそう」「やってみよう」と思えるような課題を設定したことで，一人ひとりが主体的に課題を解決しようとする姿が見られた。



3 実践の成果と課題

- ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れることにより，自分の考えを積極的に説明したり，他の考えに真剣に耳を傾けたりして，学習の成果を互いに共有することができた。
- 課題設定の仕方を工夫することにより，一人ひとりの生徒が本時のめあてをきちんと理解し，主体的に課題に取り組むことができた。
- 生徒一人ひとりの発表の機会を多く設定することができた。また，様々な学習形態を取り入れ，互いに意見や考えを確かめ合うことで，学力の定着につながった。
- 課題解決の際に，ペア学習やグループ学習だけでなく，まずは一人ひとりの生徒が，課題にしっかりと向き合う場を設定する必要がある。
- 少人数での活動中の生徒のつぶやきや気付きを教師がしっかりと拾い上げ，全体で確認する場面をつくるなどして，より効果的な指導にあたりたい。